

日本の動き

世界的に低い 日本の女性議員比率

2018年6月現在、日本の女性議員比率は世界193カ国中158位です。(IPU調べ)先進国では最低水準で、東アジア地域でも中国(70位)、韓国(117位)より低くなっています。日本の女性議員比率10.1%に対し、世界平均は約22%。北京で第4回世界女性会議が開かれた1995年の11.3%から、20年間で倍増しました。

女性の力が生きる政治の世界

意思決定の場を圧倒的多数の男性が占めると、男性中心の支配的な政治文化が生まれやすいことが心配されます。議会や選挙活動において女性蔑視や性差別が起こり、「女は家庭」などの性別役割分業意識もあって、女性の政治活動は妨げられます。

しかし、戦後日本の女性関連政策は人権意識を持つ女性議員の地道な努力や、民間女性組織との協働で進展してきました。2001年に成立・施行された「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」(DV防止法)もその一例です。女性への暴力を基本的人権の侵害と明確化した1995年の北京会議を受けて、超党派女性議員がネットワークを作り、議員

立法で成立しました。

女性生活者としての視点や弱者へのまなざしを持ち、子育て・介護・教育などへの問題意識があります。女性議員が増えることで政策の優先順位が変わり、より活発な議論がなされるかもしれません。

政治参画を増やすために

世界で女性議員が増加した背景に、候補者・議席の一定数を男女に割り当てる「クオータ制」の普及があります。北欧諸国で始まり、現在は男女平等の民主主義国家を目指す約130の国や地域で導入されています。

日本でも今年5月、「政治分野における男女共同参画推進法」(候補者男女均等法)が成立・施行されました。各政党は国会や地方議会の選挙で、男女の候補者数を均等にする努力を求められます。女性議員を増やすことを促す初めての法律で、2012年に男女同数内閣を実現させたフランスと比較して「日本版パリテ法」とも言われます。女性政治家の「パイオニア」である市川房枝氏は「出たい人より出したい人を」をコンセプトに、有権者の立場に立った理想選挙を訴えてきました。政治は暮らしそのもの。関心を持ち続けることが大切ではないでしょうか。(高橋ゆ)

表:世界の女性議員比率ランキング(抜粋)

順位	国名	比率(下院)
1	ルワンダ	61.3%
2	キューバ	53.2%
3	ボリビア	53.1%
8	スウェーデン	43.6%
11	フィンランド	42.0%
16	フランス	39.0%
37	ネパール	32.7%
70	中国	24.9%
117	韓国	16.3%
158	日本	10.1%

2018年6月 IPU 資料より作成



政治はその時代に求められているものに耳を澄まし、共に実現させていく作業です。政治を変え未来を切り開いていくためには、女性の強みである「共感力」や「協働する力」が重要です。

清瀬市では女性議員が議員全体の45%を占めています。市(区)議員における女性議員の比率は全国第2位、市区町村合わせても第4位となっています。

総務省 地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調、割合は総務省資料(平成29年12月31日現在)

世界の動き

フランスの男女ペア候補制度

女性の政治への参画を促し、議員の男女比を同じにするための策として、男女二人一組ペアになった候補者に投票するという選挙が、フランスの県議会選挙で2015年3月に実施されました。

各選挙区から最高得票を取った「男女ペア」一組だけが当選する仕組みです。当選者はすべての選挙区で男女一人ずつになります。

クオータ制導入のネパール

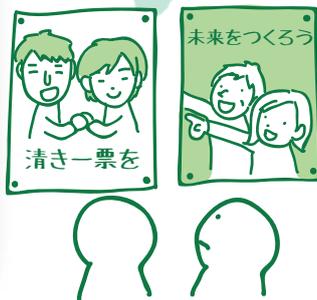
カースト制の下、女性差別が続いていたネパールは、1990年に民主主義国家となりました。

新憲法は国連の女性差別撤廃条約の精神に沿って書かれ、女性の権利を保障する内容となっています。国会議員ならびに行政府の全委員会委員の3分の1

は女性、大統領と副大統領のどちらかは女性でなければならぬと明記されています。

1995年に女性省を設置、初代大臣も女性でした。2015年には女性初のヒドヤ・デビ・バンドリ大統領が誕生し、2018年再選されました。

こうした女性のためのクオータ制により、ネパールの地方自治へ女性が大量進出、ポストの40%を占めるに至りました。しかし女性は副市長や副村長に回され、市長や村長はまだ少ないという批判もあります。(佐野)



オススメの本

日本の女性議員 どうすれば増えるのか

三浦まり 編著 / 朝日新聞出版

さまざまなデータやインタビューをもとに、女性議員について包括的に論じられています。政治の世界に対する視点が変わる1冊です。



女性議員が増えれば社会が変わる 赤松政経塾 第1期

赤松良子 他 著 / パド・ウィメンズ・オフィス

女性の政治参画を支援するネットワーク WINWIN 主催の「赤松政経塾」。7人の女性政治家による、実践に基づく生き生きとした講義の記録です。



今までの政治は「なんだか難しい、遠い世界のもの」というイメージでした。本を読み女性たちの純粋な思いを知ったことで、身近に感じられるようになりました。